

宮崎学習センター

(コード : 45A)

宮崎学習センター案内図

☎0982-53-1893



【所在地】〒883-8510 日向市本町11番11号(日向市役所隣)

【交通アクセス】

- (1) JR日豊線 日向市駅下車 徒歩7分
- (2) 宮崎交通バス(延岡線・宇納間線)「商工会館通りバス停」下車 徒歩3分
- (3) 駐車場 日向市役所駐車場をご利用ください

【その他連絡事項】

- ・宿泊施設 宮崎学習センターにご相談ください。

科目コード	2644215	授 業 概 要	<p>南米大陸に栄えたアンデス文明の研究に、1950年代より日本の調査団が参画するようになり、裾野を広げながら今も活発に研究を展開しています。ペルーではとくに神殿遺跡の調査を通じて、文明の形成過程の特徴を明らかにしてきました。アンデス文明の全体像を概観し、日本調査団の歩みとその研究成果を示します。そして現代において、地域社会の象徴・開発の障害・観光資源・盗掘対象など多様な側面を持つ遺跡と、保管・研究・情報発信・交流の場・開発拠点である博物館を切り口として、文化遺産をめぐる諸課題について考えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 南米大陸、アンデスという場所 第2回 アンデス文明史1 最初の南アメリカ人たち 第3回 アンデス文明史2 日本調査団と神殿研究 第4回 アンデス文明史3 初期国家からインカ帝国へ 第5回 アンデス文明の形成1 神殿遺跡を掘る 第6回 アンデス文明の形成2 神殿遺跡を探す 第7回 古代文明と現代社会1 遺跡をめぐる 第8回 古代文明と現代社会2 博物館をめぐる</p> <p>【学生へのメッセージ】 大河流域以外でも文明は発祥しました。四大文明という語は教科書から姿を消しつつあります。アジア・アフリカ以外、例えばアメリカの古代文明からも、人間の営みについて学べるものがたくさんあるのです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 参考書を読むほかに、可能なら身近な遺跡や博物館を訪問し、現代の私たちは過去から残っているモノとどう付き合っているのか、ペルーの事例と比較できるように意識的に考えておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 アンデス文明ハンドブック（関雄二監修、山本陸、松本雄一編／臨川書店／¥3,740／ISBN=9784653045199） アンデスの考古学 新版（関雄二／同成社／¥3,520／ISBN=9784886218773） 2021年の『新版』が最新の内容です。『改訂版』は2010年、初版は1997年です。 アンデス古代の探求—日本人研究者が行く最前線—（大貫良夫、希有の会編／中央公論新社／¥1,980／ISBN=9784120050824） アンデスの文化遺産を活かす—考古学者と盗掘者の対話—（関雄二／臨川書店／¥2,200／ISBN=9784653042365）</p>
学習センター（コード）	45A		
クラスコード	K		
科目名	アンデスの文化遺産と博物館		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ツルミ エイセイ 鶴見 英成 放送大学准教授		
日程実施時間	4月27日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 4月28日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645904	授 業 概 要	<p>AIとは、人工知能のことです。AIは、1956年にダートマス会議で米国の計算機科学者ジョン・マッカーシーが初めて使った言葉で、コンピュータによる知的な情報処理システムの設計や実現に関する分野のことです。最近、AIは目覚ましい発展を遂げ、現在人工知能の第3次ブームの真っ只中にあります。このAIの学習実現のために、今日大きく分けて「機械学習」と「深層学習＝ディープラーニング」の2つの技術があります。本講義では、AIに関する基礎から応用まで幅広い内容についてわかりやすく解説します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 AI（人工知能）とは 第2回 AI（人工知能）の変遷 第3回 機械学習その1 第4回 機械学習その2 第5回 深層学習その1 第6回 深層学習その2 第7回 応用事例 第8回 これからのAI（人工知能）</p> <p>【学生へのメッセージ】 クラウドサービスのAIやプログラミングなど実践的な内容も盛り込むので、必須ではありませんが、ご自身のパソコン持参だと理解が深まるものと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	45A		
クラスコード	K		
科目名	AIの基礎から応用まで		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	310		
定員	35名		
担当講師	サカモト マコト 坂本 真人 宮崎大学工学部工学基礎教育センター教授 宮崎学習センター客員教員		
日程実施時間	5月11日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 5月12日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎大学木花キャンパス 工学部講義室 (宮崎市学園木花台西1丁目1番地) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2645882	<p>方言は、私たちにとって非常に身近な存在です。しかし、あらためて「方言とは？」と問われると、返事に窮するかもしれません。特定の方言についてイメージを描くことはできても、具体的にその特徴について説明するのは難しいのです。そこで、本講座では、そもそも日本の多様な方言差はどのように生じてきたのか、そして、現在の日本社会における方言の使用実態と社会的機能についてさまざまな例を見たり聞いたりしながら考えてみようと思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 はじめに—日本語のバリエーション 第2回 地図で読み解くことばの地域差 (1) 第3回 地図で読み解くことばの地域差 (2) 第4回 音で感じることばの地域差 第5回 コミュニケーションから見えることばの地域差 第6回 社会の変化とことばの地域差 第7回 現代社会における方言 第8回 「つなぐ言葉」としての方言</p> <p>【学生へのメッセージ】 ことばは生活と切り離すことができません。そのため、自分が使っていることばを意識することは、あまりないのではないのでしょうか。普段自分がどのようなことばを使っているか少し意識するようになってみてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 方言の日本地図—ことばの旅 (真田信治/講談社/¥858 / ISBN=9784062721684) 変わる方言 動く標準語 (井上史雄/筑摩書房/¥770 / ISBN=9784480063489) ものの言いかた西東 (小林隆、澤村美幸/岩波書店/¥990 / ISBN=9784004314967)</p>
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	方言とコミュニケーション	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	35名	
担当講師	タナカ リサコ 田中 利砂子 南九州大学 短期大学部講師	
日程実施時間	5月18日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 5月19日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	南九州大学 宮崎キャンパス講義室 (宮崎市霧島5丁目1番地2) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2645874	<p>地域経済は、当該地域に居住する人々の日々の暮らしや拠点を置く企業等の日常活動の積み上げの結果です。地域経済を理解するためには、人々の日常生活や企業の活動に思いをはせ、地域経済の現状や構造等を可能な限り図表化するなど「見える化」することが大切です。</p> <p>本講義では、様々なデータや具体的な事例に基づき「地域経済の現状と展望」について考えていくことで、地域経済の課題を探り、その解決に挑戦する素養を身に付け、もってより良い地域社会の実現に資することを目標とします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 地域経済の現状～国や各県の総生産の規模・推移、県民所得など 第2回 地域経済が抱える課題～人口減少と地域間格差 第3回 地域経済を「見える化」する～宮崎県を事例に、地域経済を図表化 第4回 地域経済の展望1～域外や海外に売り込み「外貨を稼ぐ」 第5回 地域経済の展望2～域外・海外から人を呼び込み「外貨を稼ぐ」 第6回 地域経済の展望3～移輸入している財・サービスを地域産のそれらに「置き換えて」産出額を増やす 第7回 地域経済の展望4～仕送りなど地域から出るおカネ、ふるさと納税など地域に入るおカネ、内部留保など地域に貯まるおカネ 第8回 地域経済の担い手～地域経済の担い手である中小企業とこれを支える地域金融</p> <p>【学生へのメッセージ】 次の2点を到達目標に学習してください。 ①人々の生活や企業の行動が経済構造のどこに位置するのか考える習慣づけができて いること ②県民所得の向上という目標に対してどのような行動をとれば良いか説明できること</p> <p>【受講前の準備学習等】 新聞等を読み、地域経済について今何が課題となっているか、日頃から考える習慣づけをしてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業は、関連資料の配付とプレゼンテーションソフトを使って進めます。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 サクサクと読み解く地域経済の勘どころ (緒方哲/鉦脈社/¥1,980 / ISBN=9784860618216) 「みやざき」は可能性に満ちている—『外貨を稼ぎ循環をおこす』(改訂増補版) (緒方哲/鉦脈社/¥1,980 / ISBN=9784860617059) 外貨を稼ぎ循環をおこす—111万人の経済浮揚ここが勘どころ (緒方哲/鉦脈社/¥1,527 / ISBN=9784860615666)</p>
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	地域経済の現状と展望	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	35名	
担当講師	オガタ サトシ 緒 方 哲 宮崎産業経営大学客員教授	
日程実施時間	5月25日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 5月26日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	宮崎サザンビューティ 専門学校501号室 (宮崎市老松2-1-17) ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2645890	授 業 概 要	<p>長い年月にわたって日本文化に影響を与えてきた古代中国思想・哲学について理解を深めることを目的とします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 思想・哲学とは何か 第2回 漢文の読解の基本について 第3回 道徳の淵源としての儒教 第4回 『論語』を読む 第5回 『老子』を読む 第6回 諸子百家の文章を読む1 第7回 諸子百家の文章を読む2 第8回 まとめと振り返り</p> <p>【学生へのメッセージ】 本講義では、漢文を読むことの意義について皆さんと考えていきたいと思ひます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行ひます。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。漢和辞典をお持ちであれば、持参ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	古代中国の思想・哲学を学ぶ		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ヨコヤマ ユタカ 横山 裕 九州医療科学大学 臨床心理学部教授		
日程実施時間	6月8日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月9日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636387	授 業 概 要	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD:Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他(特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 この授業では3つの心理学実験を行い、得られたデータを分析し、レポートを作成します。予定している実験は、「印象形成」、「自由再生による記憶の系列位置効果」、「メンタルローテーション」です。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、心理学実験についての概説 第2回 実験1「印象形成」実施・データ整理 第3回 実験1「印象形成」解説・レポートの書き方・レポート作成 第4回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」実施・データ整理 第5回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」解説・レポートの書き方・レポート作成 第6回 実験3「メンタルローテーション」実施・データ整理 第7回 実験3「メンタルローテーション」解説・レポートの書き方・レポート作成 第8回 実験における倫理的配慮、まとめ、レポート作成等</p> <p>【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作は習得されていることを望みます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 会場のWi-Fiからインターネットへの接続が必要です。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行ひます。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください(タブレット、スマートフォンは不可)。 2. OSの指定 種類は問いません(Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge(エッジ)、Google Chrome(クローム)、Mozilla Firefox(ファイアフォックス)、Safari(サファリ)のいずれかが必要です。 4. その他 ・マウスの使用を推奨します。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出してもらいますが、会場にプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	オザワ タク ヒロ 小澤 拓大 宮崎学園短期大学 保育科准教授		
日程実施時間	6月15日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月16日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎県婦人会館 3F「さくら」 (宮崎市旭1-3-10) ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2645912	<p>私たちの身の回りは化学物質に満ちており、皆さんは、知らず知らずのうちに色々な化学反応を利用して生活しています。例えば水。コップに水をゆっくり入れていくと中々こぼれないですね。なぜ?その理由は?本講義では、あっと驚く楽しい化学実験を体験し、その原理(化学反応など)を分かりやすく解説していきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 水の不思議。水中シャボン玉を作ろう。 第2回 ペットボトルで雲を作ろう。 第3回 水を使ってマジックに挑戦。 第4回 ティッシュを使って毛細管現象を理解しよう。 第5回 割れない?シャボン玉を作ろう。 第6回 スライムを作ろう。 第7回 保冷剤を使って芳香剤を作ろう。 第8回 ドライアイスでサイエンス。</p> <p>【学生へのメッセージ】 簡単に手に入る身近な物を使ってあっと驚く楽しい化学実験を体験します。本講義では、化学実験を体験後、その原理(化学反応など)をわかりやすく説明します。原理を理解すれば自宅でも家族が驚く化学実験を再現できます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 汚れても良い服装で来てください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(※通学中事故特約付きで6年間有効、140円です。)</p>
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	身の回りのあっと驚く化学体験3	
科目区分	専門科目:自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	スガ モト カズ ヒロ 菅 本 和 寛 宮崎大学 工学部准教授	
日程実施時間	6月15日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月16日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	宮崎大学木花キャンパス 工学部講義室 (宮崎市学園木花台西1丁目1番地) ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2645840	<p>糖尿病、高血圧、脂質異常症等の生活習慣病の予防、低体力者や高齢者の介護予防など、健康志向の運動が地域で活発に行われるようになりました。しかし、運動により健康傷害を引き起こすこともあるため、運動実践においては基本的な知識と技術が必要です。本講義では、まず自身の健康状態や体力を知り、その上で自身に適した運動の種類や方法を理解していただけるよう、健康運動に関する講義と実技を行います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 健康とは何か。わが国の健康づくり施策の変遷(担当:鶴田) 第2回 体力とは何か。体力測定項目と目的(担当:鶴田) 第3回 エネルギー産生のしくみ(担当:吉永) 第4回 運動とエネルギー消費(担当:吉永) 第5回 体力測定の実施と評価(担当:鶴田) 第6回 目的にあった運動選択と個人評価の視点(担当:鶴田) 第7回 健康運動の実践法①(担当:鶴田) 第8回 健康運動の実践法②(担当:鶴田)</p> <p>【学生へのメッセージ】 皆さん、小・中・高等学校で体力テストを行ったことがあると思います。過去と現在の自分の体力比べをしてみませんか。現状を知り、健康づくりの運動を一緒に実践しましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 体力測定・運動を行いますので、運動できる服装でお越しください。シューズは室内用の運動靴をご準備ください。また、水分補給のための飲み物を持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目:保健体育」に該当します。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(※通学中事故特約付きで6年間有効、140円です。)</p>
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	健康志向の運動実践	
科目区分	基盤科目:保健体育	
ナンバリング	110	
定員	20名	
担当講師	ツル タ クル ミ 鶴 田 来 美 宮崎大学医学部教授 ヨシ ナガ サ オリ 吉 永 砂 織 宮崎大学医学部准教授	
日程実施時間	6月22日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月23日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	宮崎大学清武キャンパス 総合教育研究棟 (宮崎市清武町木原5200番地) ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2637715	<p>日常的にこんな食べ物を食べ続けていたら身体も壊すことにもなるし、反対に健やかにもなるということは知られていますが、住まいにおいてそのことを認識して実践している人は少ないように思います。しかし、食と全く同じで住まいが人の心身に大きな影響を与えているのは紛れもないことです。近代以降の激変した生活において、建築が今後どのような役割を果たせばよいのでしょうか？近代の可能性と危険性を同時に考えていた近代建築家の思想を読み取りながら考えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 住まいの基本とは？健やかな心身のための住の基本を考えます。 第2回 近代とはなんだったのでしょうか？近代以降の生活を考えます。 第3回 帝国ホテルの設計者フランク・ロイド・ライトから学ぶ 第4回 フィンランドの風土に根ざしたアルヴァ・アアルトから学ぶ 第5回 ルイス・カーンとグンナール・アスプルンドから学ぶ 第6回 西洋と日本をつないだ吉村順三から近代とこれからの学ぶ 第7回 あるものをいかす？パッシブデザイン入門 第8回 私の実践紹介</p> <p>【学生へのメッセージ】 生活の基本である衣食住の一つ"住"に関心を持っていただき、理解と視野を広げていただきたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 自身の生活や住環境を改めて見つめていただきたいと思います。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 住まいの基本を考える（堀部安嗣／新潮社／¥2,640 / ISBN=9784103352921）</p>
学習センター（コード）	45A	
クラスコード	K	
科目名	住まいの基本と近代建築	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ホリベヤシン 堀部安嗣 放送大学教授	
日程実施時間	6月22日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月23日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎サザンビューティ 専門学校501号室 （宮崎市老松2-1-17） ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2645866	<p>食と健康に関する基礎生命科学、特に生命を担うこの身近で不思議な物質「タンパク質」そして「遺伝子」について説明します。免疫は、ウイルスを始めとして外敵をやっつけるのに非常に重要です。生命の設計図から発展したバイオテクノロジーの技術でできた新型コロナウイルスワクチン誕生の話も紹介します。日々の生活で健康に過ごすには食が大事で、特に食品の体に良い機能性が近年よく分かってきました。私たちの研究成果であるきんかん「たまたま」の免疫活性化そして疲労回復、さらに宮崎の誇る本格焼酎の機能性等も紹介します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 タンパク質のルーツと姿と形 第2回 タンパク質は才媛：酵素の働き 第3回 タンパク質はスーパースター：ホルモン、体内の警察官 第4回 タンパク質と健康：栄養、老化、分子病、生命の設計図 第5回 食品の機能性ときんかん「たまたま」の免疫活性化と疲労回復 第6回 ウイルスとがん：新型コロナウイルスワクチン誕生 第7回 私の研究紹介：ウイルス侵入の鍵となる硫酸化の仕組みの解明 第8回 本格焼酎の魅力：製造からおいしい飲み方・機能性・アルコール体質まで</p> <p>【学生へのメッセージ】 この面接授業は、生命を担う不思議な物質「タンパク質」の働きを説明し、生命科学の面白さを紹介します。私たちの食を活用したウイルス感染予防等の研究や本格焼酎の機能性を紹介し、食の重要性について学びます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 生命科学に関する専門用語が多く出てきますので、シラバスから用語の意味を事前学習していただければ、本科目の理解度が上がります。例えば、酵素、ホルモン、ウイルスなど。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは「タンパク質の働きと食品の機能性について」です。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 タンパク質－生命を担うこの身近で不思議な物質（蛋白質研究奨励会編／東京化学同人／¥1,540 / ISBN=9784807901975）</p>
学習センター（コード）	45A	
クラスコード	K	
科目名	食と健康：食品の機能を活かす	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	35名	
担当講師	スイコウマサヒト 水光正仁 宮崎大学名誉教授 ／次世代研究者支援室長	
日程実施時間	6月29日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月30日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎サザンビューティ 専門学校501号室 （宮崎市老松2-1-17） ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2636360	授	3種の実験を行い、それぞれについてレポートを作成します。予定している実験は、目撃者証言、ミュラー・リャーの錯視、概念学習です。授業時間中にデータ整理、レポート作成をおこないますが、間に合わない場合は、後日レポートを提出していただきます。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験1		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ナイトウ ケン イチ 内藤 健一 九州医療科学大学 臨床心理学部講師		
日程実施時間	6月29日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40	業	【授業テーマ】 第1回 目撃者証言 第2回 論文・レポートの書き方、データ整理、レポート作成 第3回 ミュラー・リャーの錯視 第4回 データ整理、レポート作成 第5回 概念学習 第6回 概念学習 第7回 データ整理、レポート作成 第8回 各レポートの再考・修正
	6月30日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 レポートは、手書きでもノートパソコンを使用して作成してもかまいません。空き時間等でパソコンを使用してレポートを作成される方は、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室 ※不測の事態発生時は閉講	要	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【その他(特記事項)】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。

科目コード	2645920	授	宮崎大学の臨海教育研究施設に1泊し、様々な方法で海の生物を採集し、その多様性や神秘的な発現象について学ぶ合宿形式の授業です。海の生物を自らの手で採集し、自らの目で観察することの重要性と楽しさを実地で学ぶ授業です。その様な学びを通じ、海洋環境と生物との関わりを理解し、海洋生態系と人間、食資源との関わりについて理解を深めます。 海の生物の面白さをじっくり味わいましょう。実物に勝るものなしです。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	海洋生物学実習		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	ウチ ダ カツ ヒサ 内田 勝久 宮崎大学 農学部教授		
日程実施時間	7月6日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40	業	【授業テーマ】 第1回 動物の系統進化と多様性(講義) 第2回 ウニの発生実験、ウニの発生観察① 第3回 実習船によるプランクトン採集 第4回 プランクトンの観察、ウニの発生観察② 第5回 潮間帯にける動物の生態、無脊椎動物の不思議(講義) 第6回 磯での海洋生物の採集 第7回 採集生物の同定と観察①、ウニの発生観察③ 第8回 採集生物の同定と観察②、まとめ
	7月7日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【学生へのメッセージ】 実習を主体とする2日間の授業を通じ、仲間と協力し、たくさんの海洋生物を集め、自身の目でじっくり観察し、楽しく学びましょう。特別な予備知識はいりません。海の生き物に興味を持った、大好きになれたと実感できる授業としたいです。
			【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	宮崎大学農学部 フィールド科学教育研究センター・ 延岡フィールド(水産実験所) (延岡市赤水町376-6) ※不測の事態発生時は閉講	概	【受講者が当日用意するもの】 授業の一部に磯採集を含みます。長袖シャツ・長ズボン、履き古した靴下、日除け帽子(または日除けタオル)、濡れてもよい運動靴またはマリンスーツや長靴など、野外観察と採集ができる服装を準備してください。磯での野外観察では、できるだけ素肌を露出させない工夫が必要です。
		要	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 海に暮らす無脊椎動物のふしぎ(中野理枝 著、広瀬裕一 監修/ソフトバンククリエイティブ/¥1,047 / ISBN=9784797363005) 【その他(特記事項)】 延岡フィールドでの宿泊は2~4名の相部屋です。原則、延岡フィールドに宿泊して授業に参加をしていただきたいですが、宿泊を希望しない方は通いでのご参加もできますので、宮崎学習センターに問い合わせてください。また、コロナ禍の状況により、延岡フィールドに宿泊できない場合も想定されます。その場合、施設近隣のホテル等をご自身で予約し、延岡フィールドに通学していただく場合も想定されること、あらかじめ、ご了解ください。 ・延岡フィールドに宿泊した場合、授業料とは別に、参加費として5000円程度(食費、布団レンタル代、宿泊料、雑費等)が必要です。参加費は当日現金で徴収します。 ・受講できなくなった場合は、事前に宮崎学習センターに連絡してください。 ・天候が許せば実習船(定員25名乗り)によるプランクトン採集を行います。この場合、実習船利用料として、500円程度を徴収いたします。 ・野外での活動、磯採集のできる服装を持参してください。後日、野外での活動時の注意事項などをまとめたガイダンス資料を、案内文と共に配付いたします。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(※通学中事故特約付きで6年間有効、140円です。)

科目コード	2645858	授 業 概 要	<p>「認知症の理解」では、認知症の原因となる主な病気や症状の特性を学び、それによって引き起こされる機能の変化や日常生活への影響、また、認知症の人の心理状態について理解し、認知症本人のみならず介護する家族を含めた支援のあり方や認知症の予防について学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 認知症の動向と医学的特徴 第2回 BPSD（認知症の行動・心理症状）と認知症の人の心理について 第3回 認知症の人について理解する 第4回 認知症の人を介護する家族について 第5回 認知症のケアについて 第6回 若年性認知症と社会資源について 第7回 軽度認知障害と認知症予防について 第8回 総括</p> <p>【学生へのメッセージ】 認知症の人は、2025年には約700万人を超えるといわれています。認知症や認知症の人を理解し、認知症の人の意思が尊重され、自分らしく暮らしていくことができる社会にしていきたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター (コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	認知症の理解		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	210		
定員	30名		
担当講師	イナダ ヒロコ 稲田 弘子 九州医療科学大学 社会福祉学部教授		
日程実施時間	7月13日（土） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 7月14日（日） 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室 ※不測の事態発生時は閉講		